

備えあれば憂いなし 祁答院地区4町合同 地震想定防災訓練開催

5月13日、祁答院地区4町合同の地震想定防災訓練が町の総合グラウンドで開催され、各町から消防団員など320名が参加しました。

この合同地震想定防災訓練は、一昨年鶴田町でおこなわれて以来2回目の開催で、災害対策基本法及び地域防災計画に基づき、地震などの災害発生時に防災関係機関並びに町民が緊密に連携し、情報の伝達収集、救出救助、避難誘導、消火活動等の災害応急対策を迅速、適切におこなえるよう実施されました。この訓練でこれまで以上の防災体制の強化や町民の意識高揚が期待されています。

当日は、薩摩地方北西部を震源とする震度6弱の地震が発生し家屋の倒壊や崖崩れが起きたという想定で各種訓練がおこなわれ、小雨の降るあいにくの天気の中、全員が真剣な表情で取り組んでいました。

訓練実施本部長の山口町長は「災害は何時起こるか分かりませんがこのような訓練を積むことにより、いざという時に迅速かつ的確な行動に結びつき、地域の皆さんの防災意識の高揚に役立つと確信しています。」と講評を述べました。



▲各町消防団合同の消火訓練



▲車両からの救出訓練



▲中学生も参加・避難誘導訓練



▲防災ヘリコプターによる搬送訓練



▲赤バイク消防隊の情報収集訓練



▲油漏れ事故応急処置訓練